



◆修学旅行◆

~ 1月30日~2月1日(沖縄) 楽しかった3日間を振り返って ~

まず、1日目に平和祈念資料館での講演で、司会という大きな役割を任せられました。講演前は緊張していましたが、本番はミスなく無事終わられて良かったです。2日目はシュノーケリングなどをしました。沖縄の海や魚はすごくきれいで感動しました。他にも、エイサーショーを観たり、3日目のタクシープランでは沖縄の街を肌で感じたりなど、普段体験する機会がないことばかりでき、とても最高の思い出になりました。
(藤井もも)



1日目の平和学習では、戦争についての話を聞いたり、実際に使われていたガマに入ったりと貴重な体験ができました。2日目は主に観光で、私のクラスはシュノーケリングとビーチ探索をしました。海に行ったこと自体初めてだったので、どちらも初めての体験でした。海の中の美しさに感激し、ビーチでは星の砂やシーグラス、貝殻を拾いました。水族館も良かったです。3日目は班でタクシーに乗って研修に回りました。最高の思い出を作ることができて嬉しいです。(高尾優風)



3日間、とても有意義な旅行になりました。1日目のひめゆりの塔とガマ体験では、戦時中の人々の暮らしを資料で見たり、戦争を体験した方の話を聞いたりして、当時の暮らし方や状況、心境を知ることができました。2日目のマリンスポーツ体験、美ら海水族館訪問では、実際に体験することで沖縄の生物や気候等が理解できました。班別研修では、班員と協力し、楽しい時間を過ごすことができました。もう一度沖縄に行く機会があるなら、もっと沖縄の郷土や文化に触れてみたいです。(箕澤郁哉)



耐久高校での修学旅行、自分にとっての人生最後の修学旅行は忘れることのできない良い思い出になりました。沖縄の海、きれいな景色、真っ暗なガマ、沖縄の歴史。すべてが良い経験で、良い思い出、貴重な体験になりました。これから自分は沖縄で学んだことを基に、高校生活を充実させていきたいと思います。(新屋順生)



今回の修学旅行では、沖縄の戦争の悲惨さ、そして平和の大切さについて、身をもって理解できました。今後の生活や総合的な学習の時間に生かしていきたいと思っています。(川口大輝)



私は修学旅行委員長を務めました。委員長とすべきところではありますが、自分で立候補したもので、責任をもってやり切ったつもりです。結



団式でも、修学旅行中の仕事でも、初めは緊張しましたが、最後のやり切ったという感じは、とても清々しかったです。緊張と言っても、そこまで極度に緊張はしなかったため、修学旅行を楽しむことができました。
(永屋友海)



◆マラソン大会◆

1月22日(火)、朝の雨も上がり、寒さが緩んだ絶好のマラソン日和の下、校内マラソン大会が実施されました。男子は9km、女子は6kmのコースを1・2年生が駆け抜け、男子は下村佳生(1の3)、女子は栗田知幸(1の5)が優勝しました。順位や好タイムを狙う生徒も、走るのが苦手な生徒も、最後まで諦めずに走る姿が爽やかでした。

